

11/13 2020都労連賃金確定闘争 一時金 0.10月削減で妥結

北多摩西ニュース



No.8

国分寺市光町1-40-12
Tel 042-576-1161(代)
Fax 042-575-0529
E-mail: kitanisi@crux.ocn.ne.jp
ホームページ: http://kitanisi.org/
東京都教職員組合
北多摩西支部情宣部

全教職員配布

月例給等は次のステージで交渉

11月に出された東京
都人事委員会の不当な
勧告に基づいて交渉が
進められました。

都労連としてあくま
で労使での決着を求
め、職場の実態を背景
に賃上げを要求しまし
たが、コロナ禍での都に
おける空前の財政難な
ど厳しい局面は打開で

きず、苦渋の決断とな
りました。福利厚生面
での一定の成果は獲得
しましたが、肝心の月
例給については国が遅
れたことから、都も勧
告が出されずいまま
です。12月議会と睨みな
がら都との交渉に全力
で臨みます。

次回の都労連闘争について

月例給についての闘
いが残されています。
時期は全く不明です
が、取り組みは以下の
ように報告します。



○当日WEBおよび電
子データで連絡しま
す。
交渉結果・北西HP
↓都教組HP ↓組合
員のページ
○紙による都教組号外
は、即日に宅急便で
発送します。

2020都労連妥結結果

- ①一時金を引き下げ(△ 0.10月分)
再任用△ 0.05月
官民格差を是正するために
現行4.65月→4.55月
期末手当 12月分
1.30月→1.20月
勤勉手当は変わらず
- ②旅費制度見直し
旅費雑費の廃止
交通費については実費交通費
を支給
旅行中の公務に関わる通信費
は、都費で負担(モバイルチャ
イス)
- ③介護休暇などの対象となる要介
護者の範囲見直し
同一世帯で生活している親族
は対象となる
- ④会計年度任用職員のこどもの介
護休暇、及び短期の介護休暇の
見直し
勤務時間が1日4時間以下の
職員にこどもの看護休暇及び短
期の看護休暇の時間取得が可能
になる。
- ⑤月例給については未定
2回目の勧告で反映

学校の窓

▼「組合の先生方には、初任の頃から温かくご指導していただきました。また、職場環境を改善しようとする姿をたくさん目にしました。私が異動のことで組合の先生に相談したところ、親身になって相談に乗ってくださいました。私は、このように先輩に巡り会えたことに幸せを感じました。こうしたことがきっかけとなり、都教組に加入することになりました。」と語るAさん。▼さらに話は続きます。「私が組合に入ってから思ったことは、市内外の様々な学校の先生方と情報を交換し、共有できることです。また、パワハラや異動等、様々なことで困っていることがあったら、一人で抱えずに相談に乗ってくれる人達がいるということがとても心強いです。」▼都教組は、相談活動を常にしています。Aさんの話にあったように、決して一人で悩み続けず、困ったことがあったら私たちに声をかけてください。▼最後に、Aさんは「私もいつか、後輩のためにがんばっていきけるように、努力していきたいです。」と。(K・S)

北西教育センター実践講座

11月21日(土) 子どもたちが達成感を味わえる授業の工夫

11月21日(土)北西教育センター主催の実践講座を開きました。(写真)今回は「コロナ」対応でZoomでも配信しました。

算数の指導法を長年

研究・実践されてきた 限られた時間の中で

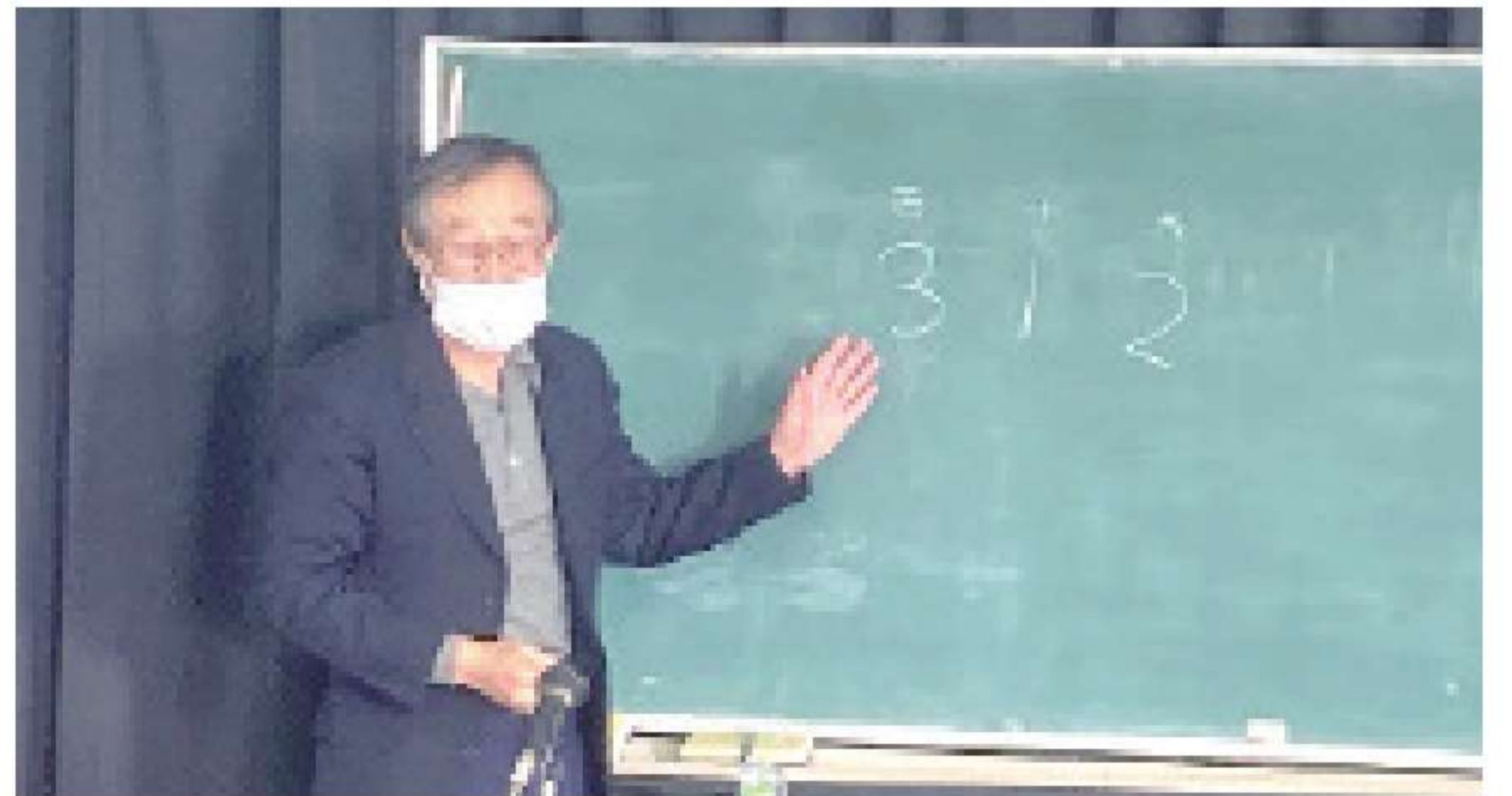
岩村先生から、「コロナ したが、具体的な指導

ナの中で、6年間を見 方法を多く学ぶことが

通した授業づくり」「何 出来ました。(感想参

をポイントに教える 照)

か」をテーマに学びま ※当日の資料は、今月



いっぱい支部のホームページに掲載します。



- ◆つまづいている子にどう手をうち、支援していくか考える良い機会になりました。暗算が苦手な子に筆算を教えた方が良いという言葉が目からウロコでした。1年生の教科書に筆算が出てこないのに教えていませんでしたが、筆算を使うことで苦手な子もできる喜びを味わえ、達成感があると思いました。
- ◆限られた時間のなかでどこにポイントを絞るかを教えていただき、大変勉強になりました。またコロナ禍で行事もカットされているので、メリハリのある授業を行うため、子どもが食いつくような教材、ヒントもありがとうございました!
- ◆市販の本では手に入らないような資料を用意してくださって感謝します。算数は先を見通して指導しなくてはいけないと痛感しました。いろいろな教材・教具・ゲームなどを教えていただき、実践していきたいと思いました。

11月23日(祝)

「少人数数学級いいね」 「過密学級とんでもない！」

少人数数学級の早期実現を目指して、「子どもと教育を守る三多摩の会」は、ネットで署名を呼びかけている「少人数数学級化を求める研究者有志」(以下「有志」)の一員で世話人の中村雅子さんを講師に学習会を開きました。

2つの詰め込みをなくそう

「有志」では2つの詰め込みをなくそうと呼びかけています。

- ①子どもを教室に詰め込む
- ②子どもに学習内容を詰め込む

少人数指導ではなく、少人数学級を

少人数学級実施に、財務省は学力(テストの点)が上がることを求めています。それに対し、教育をそれだけで測ることに問題があることなど、具体的な例を挙げて、国が教育にお金をかけること

少人数指導が「習熟度別」で行われていることで、子どもたちのなかにラベル貼りがある実体も紹介されました。

署名をさらに広げましょう

子どもの成長発達には「大人とのゆったりした人間関係が不可欠」です。教職員の多忙化を解消し、子どもにゆっくり対応できる時間を保障しなくてはなりません。そのためにはまず、少人数学級を実現することです。署名をさらに広げましょう。

新型コロナの危険の中で学ぶ子どもたちに、

少人数学級と豊かな学校生活を

少人数学級化を求める教育研究者有志

署名サイト <http://dmg.jp/jv7dgm/>

公式ツイッター @kodomo_2020